



4.



5.



6.



7.

1. 男子団体組手優勝・花咲徳栄 2. 花咲徳栄の団体組手は、インターハイ上位入賞も期待できる 3. 吉田（栄北・左）のスピードのある技は相手に脅威を与える 4. 女子も組手で花咲徳春が優勝した 5. 女子団体形優勝・埼玉栄、6. 女子団体組手決勝 花咲徳栄対埼玉栄 7. 一つの技を繰り返す時、魂の音が響き渡る

勝を果たし、今後の活躍が楽しみである。
山中望未（立教新座）は、昨年8月の全国総体では一年生ながら準優勝、3月に行われた全

国選抜大会では優勝、6月の関東大会でも優勝という結果を残している。
松山女子の部長清水さつき（3年）は、3回目のインター

ハイ出場を果たした。全国大会では、ベスト16が最高で、3年生最後のインターハイにベスト8以上を目指している。



平成28年度埼玉県学校総合体育大会兼会
全国高等学校総合体育大会県予選会

2.

3.

インターハイでも
好成績が期待できる
埼玉県勢



1.

総評

空手道専門委員長
向井勝彦（深谷高校）

埼玉栄は日本代表及び東アジアジュニア選手権代表の嶋田力斗、昨年度関東選抜大会北ブロック優勝の岡田達哉を中心にインターハイ団体組手競技の優勝を目指している。
形競技では国民体育大会埼玉県予選女子個人形優勝の平原理子、同大会男子個人形準優勝の上篠海がインターハイ、国体で上位入賞が期待できる。
花咲徳栄女子団体組手は、キャプテンの白方菜々海を中心

にまとまりがある。白方はスピードがあり、蹴り技を得意として、全国選抜大会で準優勝。また、吉岡静香は遠目の間合いから繰り出す刻み突きにスピードがあり、中井成美は後の先を得意としている。
この3人を中心に県大会を優勝し、団体で関東選抜大会準優勝を成し遂げた。男子団体組手は、キャプテンの長寿樹を中心に力強い技で関東選抜大会準優勝、全国選抜大会5位と頑張っている。
吉田翔太（栄北）は手足が長く、彼のスピードのある技は相手選手に大きなプレッシャーを与え、有利な試合展開を作り出すことができる。個人形の部では、三澤可奈はまだ1年生ではあるが、全国中学生大会で準優

にまとまりがある。白方はスピードがあり、蹴り技を得意として、全国選抜大会で準優勝。また、吉岡静香は遠目の間合いから繰り出す刻み突きにスピードがあり、中井成美は後の先を得意としている。
この3人を中心に県大会を優勝し、団体で関東選抜大会準優勝を成し遂げた。男子団体組手は、キャプテンの長寿樹を中心に力強い技で関東選抜大会準優勝、全国選抜大会5位と頑張っている。
吉田翔太（栄北）は手足が長く、彼のスピードのある技は相手選手に大きなプレッシャーを与え、有利な試合展開を作り出すことができる。個人形の部では、三澤可奈はまだ1年生ではあるが、全国中学生大会で準優

男子	
団体形	
1位	埼玉栄
2位	栄北
3位	松山
団体組手	
1位	花咲徳栄
2位	埼玉栄
3位	栄北 浦和実業学園
個人形	
1位	町田康裕（3年・伊奈学園総合）
2位	上篠海（3年・埼玉栄）
3位	佐藤拓海（3年・埼玉栄） ※山中望（2年・立教新座）は別枠出場、1位のみ総体へ
個人組手	
1位	嶋田力斗（2年・埼玉栄）
2位	山口建太（2年・花咲徳栄）
3位	長寿樹（3年・花咲徳栄高校） 吉田翔太（3年・栄北）

女子	
団体形	
1位	埼玉栄
2位	栄北
3位	松山女子
団体組手	
1位	花咲徳栄
2位	埼玉栄
3位	伊奈学園総合 栄北
個人形	
1位	清水さつき（3年・松山女子）
2位	平原理子（3年・埼玉栄）
3位	三澤可奈（1年・栄北） 松島美桜（3年・栄北）
個人組手	
1位	白方菜々海（3年・花咲徳栄）
2位	吉岡静香（3年・花咲徳栄）
3位	中井成美（3年・花咲徳栄） 福田夏子（3年・伊奈学園）

